

①【直営施設】県民利用施設一覧表

No.	所管局	施設名	所在市町村	設置目的	施設概要	財産価格	利用状況・収支等の状況 (単位:千円)						利用状況の数の内容	運営改善	備考
							R05(決算ベース)		R06(決算ベース)		R07(予算ベース)				
							人数	収支等	人数	収支等	人数	収支等			
1	政策局	公文書館	横浜市		土地 1,852,733千円 建物 1,329,159千円 ■敷地面積 17,071.07㎡ ■延床面積 4,998.81㎡ ■建築年 平成5年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 23,449 維持管理経費 70,810 人件費 常勤 9名、再任用 2名、臨時的使用 1名、会計年度任用 7名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 224,821 利用者一人当たりコスト③/① 34.4 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 23.5	6,585人 12,693人 6,800人	1,548 78,345 80,724 9名 2名 1名 7名 299,882 △ 298,334 23.6 23.5	1,934 30,652 84,186 9名 2名 1名 7名 259,637 △ 257,703 38.2 37.9	144,799 144,799 144,799	来館者の延べ人数(会議室等を除く) 膨大な取蔵資料の管理システムを更新し、回線経費の削減を図る等、業務の効率化を進めました。 ホームページをリニューアルし、トップページに開館日程やイベント日程を掲載する等、利用者目録での分かりやすい構成に変更しました。				
2	政策局	かながわ県民活動サポートセンター(かながわ県民センター)	横浜市	県民の自主的で営利を目的とした社会に貢献する活動の支援のため	土地(全体) 4,171,698千円 建物(全体) 1,896,722千円 ■敷地面積 2,098.43㎡(かながわ県民センター全体) ■延床面積 4,998.81㎡(かながわ県民センター全体) ■建築年 昭和47年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 128,193 維持管理経費 212,607 人件費 常勤 16名、再任用 2名、臨時的使用 1名、会計年度任用 2名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 437,878 利用者一人当たりコスト③/① 1.1 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 2.2	475,498人 508,444人 508,444人	66,352 103,464 229,471 17名 1名 1名 2名 503,338 △ 436,986 1.0 2.2	147,026 77,549 123,299 18名 0名 1名 2名 373,610 △ 226,584 0.7 3.1	172,762 172,762 172,762	かながわ県民センター-実働者の延べ人数 施設の安全性確保のため、機械設備等の工事を実施しました。	「利用状況・収支等の状況」の利用状況は、かながわ県民センター全体の数値です。			
3	文化スポーツ観光局	スポーツセンター	藤沢市	スポーツを推進し、県民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむ、もって県民の心身の健全な発達、健康で明るく豊かな生活及び活力ある地域社会の実現に寄与するため(「スポーツ(体育)の振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため」)	土地 15,993,842千円 建物 11,583,615千円 ■敷地面積 146,266.96㎡ ■延床面積 32,096.73㎡ ■建築年 平成9年、令和2年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 372,559 維持管理経費 169,944 人件費 常勤 21名、再任用 5名、臨時的使用 1名、会計年度任用 9名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 666,008 利用者一人当たりコスト③/① 2.7 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 2.2	301,452人 284,748人 313,350人	133,031 372,559 169,944 21名 5名 1名 9名 1,016,149 △ 877,466 3.6 3.1	138,683 112,500 484,800 19名 4名 1名 10名 1,098,855 △ 960,594 3.5 3.1	357,186 357,186 357,186	県民の皆様と心身の健康づくりを目指したスポーツの振興を図るため、競技力向上とトップアスリートの育成支援、生涯を通じたスポーツ活動と健康づくりの推進、障がい者スポーツの活動機会の拡大と理解促進などを目的とした事業を行いました。 また、施設面では、球技場1(天然芝)の改修をはじめ設備の適切な維持管理に努めています。 今後も事業面、施設面ともに利用の促進を図っていきます。	センター内施設利用者の延べ人数 改修等で休館期間があります。 スポーツアリーナ1:R5.10月~R7.6月 球技場1(天然芝):R7.1月~R8.6月			
4	環境農政局	かながわ農業アカデミー	海老名市	農業後継者たる青少年の地産地消の推進、若年者に対し、効率的かつ安定的な農業経営に必要な科学的技術及び知識を習得させるため	土地 118,247千円 建物(全体) 408,023千円 ■敷地面積(管理面積) 131,789.64㎡ ■延床面積(全体) 14,061.29㎡ ■建築年 平成6年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 84,517 維持管理経費 58,286 人件費 常勤 20名、再任用 2名、臨時的使用 2名、会計年度任用 10名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 309,245 利用者一人当たりコスト③/① 1,922.8 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 1,561.8	198人 198人 198人	74,584 71,570 97,879 18名 2名 2名 10名 385,819 △ 311,235 1,948.6 1,571.9	150,956 232,356 61,539 18名 2名 3名 9名 513,936 △ 362,980 2,379.3 1,680.5	220,041 220,041 220,041	学生及び研修施設利用者(実人員) 学生及び研修施設利用者の安全のため、危険を伴う実習などには、チェックリストを用いて、作業手順や危険箇所、緊急時対応などを作業員全員が事前に確認し、実習を進めるとともに、安全確保の推進を図りました。				
5	福祉子どもみらい局	女性相談支援センター【法令必置】	横浜市	「売春防止法」等に基づき、様々な困難を抱える女性の相談、支援を図るため	土地 - 建物 - (非公開) ■敷地面積 - ■延床面積 - ■建築年 -	【利用状況】① 【収入】② 事業費 8,962 維持管理経費 34,681 人件費 常勤 15名、再任用 1名、臨時的使用 0名、会計年度任用 16名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 224,257 利用者一人当たりコスト③/① 40.5 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 40.0	5,606人 5,683人 5,683人	2,568 6,924 35,390 16名 1名 0名 20名 269,279 △ 266,711 47.4 46.9	1,308 13,380 38,030 16名 1名 0名 21名 282,357 △ 281,049 49.7 49.5	230,947 230,947 230,947	施設の延べ利用者数 利用者(同伴者を含む)の安心・安全を確保するため、施設・体制の充実を図りました。				
6	福祉子どもみらい局	青少年センター	横浜市	青少年の健全な育成を図り、あわせて県民の教養の向上に資するため	土地 1,863,808千円 建物 2,918,783千円 ■敷地面積 8,575.70㎡ ■延床面積 9,289.16㎡ ■建築年 昭和37年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 170,210 維持管理経費 168,473 人件費 常勤 22名、再任用 2名、臨時的使用 2名、会計年度任用 12名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 596,534 利用者一人当たりコスト③/① 6.0 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 4.0	106,003人 138,689人 145,577人	42,969 122,184 202,177 27名 1名 3名 10名 644,856 △ 601,887 4.6 4.3	94,969 842,402 214,175 27名 1名 3名 11名 1,381,654 △ 1,346,678 9.5 9.3	325,077 325,077 325,077	青少年指導者育成の取組として、子どもの体験活動をすすめる指導者セミナーで、指導者が毎年異なる分野の専門家に指導を受け、幅広いスキルを身に付けることができよう工夫しました。また、ひきこもり支援の主体を担う市町村と連携した同型の居場所事業として「ひきこもり当事者のための居場所」や「困難・孤立を感じる女性のための居場所」等を実施し、ひきこもり支援における広域連携の意識を高めました。さらに科学館とのコラボで「ひきこもり支援星空塾」を夜間に開催するなど青少年の支援への取組を新たに展開しました。	来館者の延べ人数 325,077			
7	福祉子どもみらい局	かながわ男女共同参画センター	藤沢市	女性の自立と男女のあらゆる分野への参加を促進し、もって男女共同参画社会の実現に寄与するため	藤沢合同庁舎内 ■敷地面積 4,984.83㎡(藤沢合同庁舎全体) ■延床面積 892.42㎡(藤沢合同庁舎全体) ■建築年 昭和42年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 20,533 維持管理経費 4,006 人件費 常勤 11名、再任用 3名、臨時的使用 11名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 187,362 利用者一人当たりコスト③/① 228.5 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 228.2	820人 621人 621人	224 22,262 6,660 13名 2名 3名 11名 213,795 △ 213,571 344.3 343.9	262 30,141 22,260 13名 2名 2名 11名 232,795 △ 232,533 374.9 374.4	180,394 180,394 180,394	人材育成及び男女共同参画の推進について、D&Iかながわメンバースポークアップの公募・作成や子どもミライ教育の新規事業に取り組み、ともに、中高生向け出前講座のリニューアルや社会向けセミナーの受講対象を拡大し、性別に関わらず自分らしい生き方や働き方を考える機会を提供し、女性の活躍を推進する取組を実施しました。 また、多言語によるDV相談業務について、対応可能な言語数を8言語から13言語へ増やし、より多くの相談ニーズに対応できるよう改善しました。 さらに、男女共同参画推進条例に基づき届出活動の事務処理について、AI-OCR及びRPAの活用拡大により、作業の効率化と業務改善を図りました。	支援室利用とは、女性の自立と男女のあらゆる分野への参加を促進することを主要な目的とした団体は、男女共同参画に資する各種会議や研修会等を行うために利用するものである。 なお、当所の事業での利用実績は、次のとおりです。 ・施設利用:465人 ・各種セミナーや会議等:6,373人 ・56企業・団体(延べ数) ・相談業務:5,561件			
8	福祉子どもみらい局	子ども自立生活支援センター	平塚市	児童福祉法に基づく乳児院、障害児入所施設、児童心理治療施設として、法的規定による措置や支援を要する児童を入所させ、これを養育又は養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の援助を行うため	土地 729,580千円 建物 3,157,996千円 ■敷地面積 20,360㎡ ■延床面積 9,211.99㎡ ■建築年 平成28年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 287,459 維持管理経費 107名、再任用 7名、臨時的使用 18名、会計年度任用 50名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 1,280,334 利用者一人当たりコスト③/① 1,654.9 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 1,526.0	839人 807人 807人	108,164 49,013 250,915 111名 3名 19名 57名 1,655,233 △ 1,606,220 2,051.1 1,990.4	46,600 248,478 448,758 108名 5名 21名 52名 1,633,253 △ 1,586,653 2,023.9 1,966.1	1,384,775 1,384,775 1,384,775	入所児童の延べ人数及び一時保護児童の延べ人数 乳児院・福祉型障害児入所施設、児童心理治療施設の特長を生かし、子どもの個性、課題に応じた心理・医療等の専門的なケアを行なうなら、子どもの保育看護・療育・治療の支援を推進しました。また、RPA化を進めるなど、いっそう業務の効率化を図りました。				
9	福祉子どもみらい局	さがみ緑風園	相模原市	障害者支援施設として、主に身体障害者に対して、入所、排泄及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援等を行うため	土地 1,118,189千円 建物 2,185,109千円 ■敷地面積 18,439.70㎡ ■延床面積 11,063.18㎡ ■建築年 平成15年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 39,637 維持管理経費 491,904 人件費 常勤 49名、再任用 7名、臨時的使用 16名、会計年度任用 11名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 901,175 利用者一人当たりコスト③/① 2,153.5 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 1,644.5	548人 414人 408人	278,969 11,035 389,435 46名 6名 14名 10名 1,017,293 △ 765,755 2,457.2 1,849.6	291,129 50,968 448,758 39名 4名 14名 9名 1,034,518 △ 743,389 2,535.6 1,822.0	534,792 534,792 534,792	入所者の延べ人数 医療の依存度が非常に高い重度の障害を有する利用者に対して、地域生活移行の可能性を定評し、多職種と連携しながら、移行について協議を重ねました。特に、外部事業所への通所(地域での日中活動)を積極的に進め、令和6年度は9名の方の外部通所を結び付けました。				
10	福祉子どもみらい局	おおいそ学園【法令必置】	大磯町	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、必要な指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うため	土地 626,135千円 建物 301,576千円 ■敷地面積 124,909.64㎡ ■延床面積 7,013.42㎡ ■建築年 昭和56年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 80,013 維持管理経費 87,448 人件費 常勤 34名、再任用 0名、臨時的使用 5名、会計年度任用 19名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 426,480 利用者一人当たりコスト③/① 1,587.8 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 1,336.9	319人 320人 320人	57,559 16,967 79,937 34名 0名 4名 21名 399,117 △ 341,567 1,247.2 1,067.4	95,227 24,896 79,169 33名 2名 4名 21名 406,125 △ 310,898 1,269.1 971.6	302,060 302,060 302,060	入所児童の延べ人数 児童自立支援施設として、生活指導等を必要とする児童を入所させ、児童一人一人に対し、個々の状況に応じた児童自立支援計画を作成し自立を支援しました。				
11	福祉子どもみらい局	中井やまゆり園	中井町	障害者支援施設として、主に知的障害者に対して、入所、排泄及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援等を行うため	土地 730,407千円 建物 2,054,753千円 ■敷地面積 32,099.73㎡ ■延床面積 9,394.38㎡ ■建築年 平成12年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 3,300 維持管理経費 222,077 人件費 常勤 118名、再任用 9名、臨時的使用 19名、会計年度任用 46名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 1,250,747 利用者一人当たりコスト③/① 1,535.3 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 1,125.8	1,111人 1,054人 1,044人	454,940 6,278 230,352 120名 6名 14名 42名 1,747,342 △ 1,266,666 1,657.8 1,201.8	506,500 8,201 281,312 114名 6名 22名 45名 1,808,757 △ 1,302,257 1,732.5 1,247.4	1,519,244 1,519,244 1,519,244	入所者の延べ人数 園の様々な課題に対し、支援改善アドバイザー等から助言をいただきながら改善に向けて取り組まれました。具体的には、「いのちを守る」支援を実施するため、障害福祉分野で活躍していた医療・医療関係者として、医療安全問題に関して実務豊富な看護師を医療連携施設として配置し、園の医療体制の充実を図るとともに、利用者一人ひとりの健康状態等を把握し、支援を見直し等の取組を行いました。 また、園外活動拠点や園での作業等を通じ、地域との繋がりをもちながら利用者の生活が充実するよう取り組まれました。				
12	福祉子どもみらい局	総合療育相談センター【法令必置(更生相談所のみ)】	藤沢市	児童の心身の健全な発達に関する複雑又は困難な問題についての相談や身体障害者及び知的障害者に関する総合的な相談、判定、指導等を行い、診療、療育訓練等を実施するため	土地 639,290千円 建物 1,585,112千円 ■敷地面積 11,891.29㎡ ■延床面積 9,249.39㎡ ■建築年 平成8年	【利用状況】① 【収入】② 事業費 87,992 維持管理経費 164,293 人件費 常勤 57名、再任用 6名、臨時的使用 3名、会計年度任用 46名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 828,178 利用者一人当たりコスト③/① 45.6 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 41.2	20,090人 17,129人 17,129人	70,720 87,601 127,051 56名 4名 5名 31名 899,972 △ 829,252 52.5 48.4	72,741 78,610 146,087 56名 4名 4名 31名 902,412 △ 829,671 52.7 48.4	677,715 677,715 677,715	診療所外来延べ受診者数、短期入所者数及び更生相談所相談件数 施設の「あり方検討会」から示された今後の方向性を踏まえ、診療所外来診療に特化し、医療型短期入所を常勤看護師配置の福祉型強化短期入所として継続させることで、重症身体障害者・者、肢体不自由児利用者の支援、診療・医療の充実とともに経費の削減を図りました。 2階外吹き抜け部分に落下防止の窓設置、全庁トイレットプロジェクトの一環によるトイレ設備の更新等による設備工事により利用者の安全性、利便性の向上を図りました。	令和5年度末で入院診療を廃止したため、「利用状況の数値の内容」のうち「入院患者数」を「短期入所者数」に変更しました。			
13	健康医療局	衛生看護専門学校	横浜市	助産師、看護師を志望する者に対し必要な教育を行うため	土地 1,463,371千円 建物 98,039千円 ■敷地面積 8,413.48㎡ ■延床面積 8,095.89㎡ ■建築年 昭和50年(本館)平成7年(別館)平成26年(新館)	【利用状況】① 【収入】② 事業費 69,773 維持管理経費 0 人件費 常勤 2名、再任用 1名、臨時的使用 0名、会計年度任用 2名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 45,855 利用者一人当たりコスト③/① 44.7 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 176.4	260人 302人 289人	73,735 0 87,849 3名 1名 0名 1名 129,778 △ 56,043 429.7 185.6	86,954 0 99,239 3名 1名 0名 1名 141,168 △ 64,214 488.5 187.6	41,929 41,929 41,929	学生数(実人員) 学習に不安のある学生を支援するため、「Studyサポートチーム」(教員のチーム)の取組を強化、継続するとともに、入学後より国家試験がイギリスを突破し国家試験の合格に向けています。このようした取り組みが実を結び、看護師国家試験は2年連続合格100%が達成されました。 また、入試問題作成及び採点の一部を委託化することにより、経費削減を図りました。				
14	健康医療局	よこはま看護専門学校	横浜市	看護師を志望する者に対し必要な教育を行うため	土地 1,058,802千円 建物(全体) 1,945,842千円 ■敷地面積 9,182.86㎡ ■延床面積 10,840.75㎡ ■建築年 昭和42年(本館)平成27年(分館)	【利用状況】① 【収入】② 事業費 74,307 維持管理経費 84,871 人件費 常勤 30名、再任用 2名、臨時的使用 0名、会計年度任用 4名 【支出】③ 収支差引②-③ △ 312,624 利用者一人当たりコスト③/① 1,493.9 利用者一人当たり収支負担額 (③-②)/① 1,207.0	259人 273人 236人	71,323 56,039 83,968 30名 1名 0名 4名 442,274 △ 370,951 1,620.1 1,358.8	82,467 11,580 110,859 32名 1名 0名 4名 443,632 △ 361,165 1,879.8 1,530.4	321,193 321,193 321,193	学生数(実人員) 令和6年度上半期にWi-Fiの整備及びクラウド型教育アプリを導入、後期の授業から稼働し、ICTを活用した看護教育の推進を図りました。				

No.	所管局	施設名	所在市町村	設置目的	施設概要	財産価格	利用状況・収支等の状況 (単位:千円)						利用状況の数値の内容	運営改善	備考		
							R05(決算ベース)		R06(決算ベース)		R07(予算ベース)						
							人数	収支等	人数	収支等	人数	収支等					
15	健康医療局	平塚看護大学校	平塚市	看護師を志望する者に対し必要な教育を行うため	■敷地面積 7,377.53㎡ ■延床面積 7,964.42㎡ ■建築年 昭和48年	土地	809,497千円	【利用状況】①	329人		321人		330人		学生数(実人員)	実習施設の確保、調整に努め、教育の質の維持、向上を図りました。看護師免許試験の対策をし、合格率95.8%を達成しました。	
						建物	1,529,472千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	74,802 24,280 90,574 33名 1名 1名 3名	32,952 0 96,229 32名 1名 4名 4名	72,952 0 96,229 35名 0名 1名 4名	75,787 0 105,014 350,446					
16	健康医療局	煤ヶ谷診療所	清川村	■無医村対策として清川村地域住民に医療を提供するため ■材料、小児科等の一般診療、看護、公衆衛生活動等を行うため	■敷地面積 597.37㎡(村有地) ■延床面積 218.91㎡ ■建築年 昭和63年	土地	9,973千円	【利用状況】①	4,300人		3,409人		4,169人		外来患者数、往診延べ患者数及び受託事業での利用者数	医療費適正化の観点から、先発医薬品を後発医薬品に積極的に入れ替えることで、診療所患者の医療費削減に寄与しました。	
						建物		【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	40,485 194 21,203 4名 0名 0名 3名	32,496 135 18,738 4名 0名 0名 3名	47,482 148 28,672 4名 0名 0名 3名	47,482 148 28,672 54,694					
17	産業労働局	産業技術短期大学校	横浜市	職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設として、主に新規高卒者を対象とした高度職業訓練を実施するため	■敷地面積 36,906.81㎡ ■延床面積 20,388.96㎡ ■建築年 平成2年 令和4年(西キャンパス)	土地	4,674,173千円	【利用状況】①	2,492人		2,142人		3,034人		学生数(実人員)及び施設利用者数	令和4年に竣工した西キャンパスは、ZEB Readyの認証を取得し、光熱費の削減を図るとともに環境対策にも積極的に取り組んでいます。 ※ZEBとは断熱化等で省エネしながら創エネ(自家発電)し、一次エネルギーの消費量ゼロを実現した建築物として、消費量を50%以上削減した建物にはZEB Readyの認証が与えられます。	東部総合職業技術校二俣川支所と合算です。
						建物	1,799,060千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	86,443 172,327 60,668 45名 7名 7名 23名	80,314 189,552 81,023 45名 6名 11名 26名	136,891 197,521 84,884 44名 8名 11名 26名	136,891 197,521 84,884 655,242					
18	産業労働局	東部総合職業技術校【法令措置】	横浜市	職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設として、職転業者や新規学卒者等の求職者が就職に必要な知識と技術を身に付けるための普通職業訓練(普通課程・短期課程)を実施するため	■敷地面積 7,377.53㎡ ■延床面積 38,332.56㎡ ■建築年 平成20年	土地	3,864,969千円	【利用状況】①	430人		410人		590人		訓練生の数(実人員)	中小企業等により良い人材を供給するため、ハローワークと連携して、ハローワークに未着業者の求職者として「出張オープンキャンパス」や、eスポーツを通じてものづくりの魅力を伝える「拡張オープンキャンパス」を開催し、多くの県民の皆様に職業訓練情報を提供しました。この他、体験入校とオープンキャンパスを同日に開催して参加者が当該の複数イベントに参加しやすい工夫をしました。また、支援を必要とする家庭に職業訓練受講料を補助するため、福祉分野のケースワーカーへの説明会を実施しました。さらに、地元法人会からの相談を受け、小学生の職業観を醸成するイベント「トレジャーハンティング(はつらみ)」に会場提供をし、地域との連携を図りました。	
						建物	1,002,317千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	18,017 138,915 54,816 47名 7名 7名 11名	15,681 194,943 82,527 49名 6名 5名 10名	19,336 268,829 90,779 45名 8名 4名 10名	19,336 268,829 90,779 535,029					
19	産業労働局	神奈川障害者職業能力開発校	相模原市	職業能力開発促進法に基づく国立県営の公共職業能力開発施設であり、障害者が就職するために必要な知識・技術を習得するための普通職業訓練(普通課程・短期課程)等を実施するため	■敷地面積 28,224㎡(国有地) ■延床面積 9,353㎡(国有財産) ■建築年 昭和50年	土地		【利用状況】①	96人		79人		160人		訓練生の数(実人員)	訓練生募集の増加を図るため、公共職業安定所と連携し、「出張職業訓練説明会」「オープンキャンパス」を活用したハローワーク職員への見学会を開催しました。加えて本職業者(障がい者)向けの体験訓練「CADミニ」を新たに開催するとともに、広報強化の取組を実施しました。また、老朽化した施設の修繕にあたり、年度によって修繕費が異なるよう計画を立て、執行の標準化を図りました。	
						建物		【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	212 582 80,308 20名 4名 4名 17名	139 576 91,539 19名 3名 5名 15名	128 576 268,514 19名 4名 6名 14名	128 576 268,514 307,705					
20	産業労働局	西部総合職業技術校【法令措置】	秦野市	職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設として、職転業者や新規学卒者等の求職者が就職に必要な知識と技術を身に付けるための普通職業訓練(普通課程・短期課程)を実施するため	■敷地面積 20,669.74㎡ ■延床面積 16,442.22㎡ ■建築年 平成25年	土地	1,362,549千円	【利用状況】①	378人		335人		512人		訓練生の数(実人員)	中小企業等により良い産業人材を供給するため、ハローワークと連携して、ハローワークに未着業者の求職者として「出張オープンキャンパス」や短時間で複数の職種を体験できる「おこたれ」に加え、オンライン配信で当該を紹介する「Webオープンキャンパス」などのイベントを開催し、多くの県民の皆様に職業訓練情報を提供しました。この他、予め日程を定めて開催する「オープンキャンパス」に加え、予約不要でいつでも気軽に参加できる「スマートオープンキャンパス」を実施しました。また、支援を必要とする家庭の方が就労につながるよう職業訓練受講料を補助するため、県の福祉分野のケースワーカーの会議や児童福祉施設の職員に当該の概要や募集について説明を行いました。	
						建物	3,343,417千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	13,698 157,006 27,278 40名 5名 11名 8名	11,048 178,965 45,613 40名 0名 10名 7名	20,097 77,454 58,418 41名 0名 10名 7名	20,097 77,454 58,418 510,857					
21	県土整備局	いせはら塔の山緑地公園	伊勢原市	自然環境や立地特性を活かした広域的な利用のある公園とすることを(整備中)	■敷地面積 13,59ha(私有地12.38ha含む) ■保有地面積 11,183.00㎡ ■延床面積 178.86㎡	土地	615千円	【利用状況】①	13,041人		18,694人		18,694人		来園者の延べ人数	来園者増を図るため、園内で採取したドングリ等を使用したクラフト体験や花壇への花苗及びチューリップの栽培の種付体験などのイベントを積極的に開催するとともに、SNSによるイベントや公園の最新情報を配信するという工夫をしながら、公園の魅力を向上させる取り組みを行いました。	
						建物	32,786千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	0 20,975 17,938 0名 0名 0名 0名	0 19,713 38,694 0名 0名 0名 0名	0 39,898 43,610 0名 0名 0名 0名	0 39,898 43,610					
22	県土整備局	真鶴港	真鶴町	港湾法に基づく地方港湾として、漁業者、真鶴産石材積出事業者、ヨット利用者等の利用に供することも観光に訪れることができる場の提供のため	■係留施設(第1物揚場138㎡)他	土地	291,909千円	【収入】①			276人				ヨット出航回数	令和5年度まで指定管理者制度を導入していましたが、令和6年度から県の直営となりましたが、必要となる整備を整えて運営を引き継ぎ、令和7年度に指定管理者制度を再導入されるまで運営を支援なく行いました。	
						建物	79,360千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	0 30 9,784 0名 0名 0名 7名	0 34 10,451 0名 0名 0名 7名	0 36,676 15,942 0名 0名 0名 0名	0 36,676 15,942					
23	企業庁	神奈川県水道記念館	寒川町	水道に関する知識の普及を図り、水道事業への県民の理解と認識を深めるため	■敷地面積 16,829.74㎡ ■延床面積 15,890.04㎡ ■建築年 昭和10年	土地	864千円	【収入】①	24,802人		42,046人		42,046人		来館者の延べ人数	来館者の増加を図るため、計画的な維持・修繕を行い、適切な維持管理をしながら、パネルや展示装置等を用いた普及啓発を推進しました。また、一般財団法人ががわ水・エネルギーサービスの協力を体制の維持により、経費の削減を図りました。	神奈川県水道記念館は、令和6年度までは県企業庁と一般財団法人ががわ水・エネルギーサービスが協定を締結し、同財団の公益目的支出計に基づく事業として運営されてきました。令和7年度からは県企業庁の委託による運営に変更しています。
						建物	3,363千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	0 30 9,784 0名 0名 0名 7名	0 34 10,451 0名 0名 0名 7名	0 36,676 15,942 0名 0名 0名 0名	0 36,676 15,942					
24	教育局	県立図書館	横浜市	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教育、調査研究、レクリエーション等に資するため	■敷地面積 7,651.58㎡ ■延床面積 15,890.04㎡ ■建築年 昭和29年	土地	1,662,964千円	【利用状況】①	239,424人		249,408人		255,000人		来館者の延べ人数	令和4年9月に開始した本館のサービス向上のため、資料の収集や電子書籍の整備などを継続して推進しました。また、研究館とデジタルコンテンツルームの予約システムにかかる時間を短縮し、利便性を高めるため、予約管理システムを導入しました。加えて、「県立図書館の再整備に向けた基本的な考え方」に基づき、再整備でもサービスが低下しないよう、外部事業者から資料を取り寄せて提供する事業を推進しました。	県立図書館再整備に伴う改修工事費等の執行により、支出が増加しました。令和6年度・ホームページアクセス数→633,847件(県立図書館と共通のトップページへのアクセス)
						建物	2,783,654千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	19,310 280,840 157,719 41名 5名 7名 55名	1,545,542 144,444 641,147 44名 3名 4名 56名	22,454 3,347,214 227,117 46名 3名 3名 57名	26,976 3,347,214 227,117 633,392					
25	教育局	川崎図書館	川崎市	自然科学及び工業に関する図書並びに一般図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教育、調査研究、レクリエーション等に資するため	■敷地面積 2,490.71㎡(株)ケイエスビー・コミュニケーションより借上 ■延床面積 1,252.90㎡(市有地) ■延床面積 3,550.38㎡ ■建築年 昭和33年	土地		【利用状況】①	99,693人		99,938人		100,000人		来館者の延べ人数	神奈川県まなびや基金を活用して子どもから大人まで利用できるものづくりに関連した人間的な資料を整備・提供したほか、入居施設にあるホテルARUKS Pと連携し宿泊客向けの資料貸し出しを行うなど利用者の利便性の向上に努めました。	令和6年度 ・ホームページアクセス数→633,847件(県立図書館と共通のトップページへのアクセス)
						建物		【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	257 18,532 184,677 16名 0名 4名 24名	276 21,399 195,837 18名 0名 4名 23名	320 18,741 228,555 19名 0名 3名 22名	320 18,741 228,555 270,364					
26	教育局	金沢文庫	横浜市	史跡金沢文庫に保管されている古文書その他の文化財及び中世その他の歴史、芸術等の資料を収集、保管、展示等を行い、県民の知識及び教育の向上を図るため	■敷地面積 2,971.42㎡ ■延床面積 2,905.96㎡ ■建築年 平成2年	土地	404,458千円	【収入】①	27,115人		38,953人		31,820人		来館者の延べ人数	令和6年度は、様々なテーマを設定した特別展を6回、企画展を1回実施を行いました。特別展のうち3回は、当館が保管する文化財を中心に、国や重要文化財の「原本」を目の当たりにできる機会を増やしました。この文化財が県民の誇りとして認められ、後世に伝えたいことを目指しています。また、月例の講座は、県民に新たな視点を提供する大型展示として、多数の来館者を迎えることができました。さらに、月例の講座は、県民の知識を深めたいという目的の解説講座や展示解説、種々の文書をわかりやすく解説する講座、過去の特別展の教材にした講座など、来館者増を実現するためのイベントを、例年比で多く企画・実施しました。	令和6年度 ・ホームページアクセス数→153,949件 ・国史金沢文庫データベースアクセス数→39,023件
						建物	173,485千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	10,639 22,183 44,901 9名 2名 0名 9名	14,462 36,342 51,749 8名 1名 2名 8名	23,315 26,827 55,121 12名 0名 0名 9名	23,315 26,827 55,121 155,878					
27	教育局	近代美術館(葉山館)	葉山町	近代美術に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の近代美術に対する知識及び教育の向上を図るため	■敷地面積 15,034.86㎡ ■延床面積 7,112㎡ ■建築年 平成15年	土地	1,552,530千円	【収入】①	87,775人		49,924人		50,000人		近代美術館全体来館者の延べ人数	令和6年度は、葉山と鎌倉別館合わせさまざまなテーマのコレクション展・企画展を全10回開催しました。このうち4回は、当館が収蔵するコレクションを中心に展示を構成し、収蔵作品を直接鑑賞いただく機会を増やすことと努めました。当館が保管する作品を県民の皆様にとって身近に感じ、次世代へ継承していくことを目指しています。また、館蔵作品を活用した展覧会の実施は、館外から作品を借用する際にかかる経費の削減にもつながっています。さらに、作品の修復過程に焦点を当てた「てあて・まろ・のこす展」では、文化財を未来へ伝えていくための活動を紹介するとともに、新たな視点を提供する展示として、多くの来館者をお迎えすることができました。また、美術の理解を深めていただくためにギャラリートーク、ワークショップなどを実施し、来館者の増加に向けた取り組みを積極的に進めました。	令和6年度 ・ホームページアクセス数→1,042,432件
						建物		【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用	42,997 439,543 78,198 11名 2名 1名 18名	440,976 466,257 88,989 12名 2名 2名 17名	466,257 111,524 192,448 11名 2名 2名 17名	466,257 111,524 192,448					
28	教育局	近代美術館(鎌倉別館)	鎌倉市	近代美術に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の近代美術に対する知識及び教育の向上を図るため	■敷地面積 4,937.00㎡ ■延床面積 1,902.93㎡ ■建築年 昭和58年	土地	781,033千円	【収入】①							(葉山館に含みます。)	(葉山館に含みます。)	
						建物	780,284千円	【収入】② 事業費 維持管理経費 人件費 常勤 再任用 臨時的使用 会計年度任用									

No.	所管局	施設名	所在市町村	設置目的	施設概要	財産価格	利用状況・収支等の状況 (単位:千円)						利用状況の数値の内容	運営改善	備考	
							R05(決算ベース)		R06(決算ベース)		R07(予算ベース)					
							人数	収支等	人数	収支等	人数	収支等				
29	教育局	歴史博物館	横浜市	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援するため	■敷地面積 4,160.82㎡ ■延床面積 10,565.47㎡ ■建築年 明治37年	土地	4,052,081千円	【利用状況】①	129,784人	111,713人	0人			来館者の延べ人数	特別展「近代輸出機器のダイナミズム」展では、当館の近代美術史研究をベースに、横浜と深い関わりを有する近代の輸出機器を充実した個人コレクションにより紹介し、約1万5,000人の来館者にご覧いただきました。常設展では、展示替えとトピック展示等により、当館所蔵資料を広く知ってもらう機会を提供したほか、老朽化したグラフィックパネルの更新に継続的に取り組みました。学習支援事業では、夏休み期間に近隣館と連携して行うミュージアム・ミッションを継続して実施する等、子どもとその保護者を対象とした取組をさらに充実させ、学芸員による出張講座や、インターンシップ、職場体験の受け入れ等、積極的に学校と連携し、若年層への働きかけを行いました。また、令和7年1月から令和8年9月(予定)まで設備等改修のため休館し、エレベーター更新工事や照明LED化工事などを行うほか、展示説明文や館内案内を分かりやすいものに直直し、「来てもらい、また来てもらう博物館」を目指した改善を進めています。	令和7年1月1日から令和8年9月まで改修工事の休館予定です。 令和6年度 ・ホームページアクセス数 →5,702,722件 ・神奈川県歴史博物館デジタルアーカイブアクセス数 →102,831件
						建物	4,471,457千円	【収入】②	36,866	28,033	10,280					
						事業費	83,573	107,394	390,582							
						維持管理経費	112,941	137,744	113,641							
						人件費	23名	23名	23名							
						再任用	5名	4名	4名							
						臨時的任用	0名	2名	1名							
						会計年度任用	30名	31名	31名							
						【支出】③	526,315	601,980	854,958							
						収支差引②-③	△ 489,449	△ 573,947	△ 844,678							
利用者一人当たりコスト③/①	4.1	5.4	-													
利用者一人当たり県負担額(③-②)/①	3.8	5.1	-													
30	教育局	生命の星・地球博物館	小田原市	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援するため	■敷地面積 22,614.5㎡(うち県有地 11,384.05㎡) ■延床面積 19,064㎡ ■建築年 平成6年	土地	320,814千円	【利用状況】①	254,313人	271,143人	271,143人		来館者の延べ人数	約4か月にわたり開催した特別展「生命の星・地球博物館の30年」においては、開館30周年を迎え、これまでに収集した120万点から厳選した資料を用いて、今までの博物館活動を「集める・調べる・伝える」に分けて紹介しました。併せて、「未来へ」というテーマで来館者が期待する当館の未来像をメッセージボードに展示するなどの工夫も行なわれ、よりよい運営を目指しました。また、まなびや基金の事業提案型寄附募集を実施するなど、いっそうの経費の節減を図りました。	特別展「生命の星・地球博物館の30年」の開催期間中には、約124,000人の来館者がありました。令和6年7月17日に放映されたNHKのテレビ番組「ザ・バックヤード」は大きな反響がありました。令和6年度 ・ホームページアクセス数 →664,445件 ・神奈川県生命の星・地球博物館収蔵資料データベースアクセス数 →279,977件	
						建物	3,191,031千円	【収入】②	60,564	64,650	67,150					
						事業費	44,560	161,776	36,666							
						維持管理経費	204,403	217,061	301,415							
						人件費	28名	29名	31名							
						再任用	3名	2名	1名							
						臨時的任用	1名	1名	0名							
						会計年度任用	18名	17名	21名							
						【支出】③	594,666	736,852	725,210							
						収支差引②-③	△ 534,042	△ 672,202	△ 658,060							
利用者一人当たりコスト③/①	2.3	2.7	2.7													
利用者一人当たり県負担額(③-②)/①	2.1	2.5	2.4													